

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																				
専門学校武蔵野 ファッションカレッジ	昭和51年10月1日	片桐 芳子	〒171-0022 東京都豊島区南池袋3-12-5 (電話) 03-3982-6117																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																				
学校法人後藤学園	昭和25年9月22日	後藤 人基	〒171-0022 東京都豊島区南池袋3-12-5 (電話) 03-3982-6152																				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																			
服飾・家政	服飾専門課程	アパレルプロフェッショナル科	平成21年文部科学省 告示第21号	-																			
学科の目的	ファッションの専門的知識と技術そして、変遷するファッション業界において順応出来る幅広い視野と美意識を備え、生活をより快適かつ美的なものにするための社会貢献出来る人材育成を目的とする。																						
認定年月日	平成27年2月17日																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																
2年	昼間	1935	225	0	1710	0	0																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																		
60人	49人	1人	8人	16人	24人																		
学期制度	■前学期:4月1日より9月30日まで ■後学期:10月1日より翌年3月31日まで		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席評価・受講姿勢・試験・提出課題等に基づき60点以上取得で単位認定。100～80点をA、79～70点をB、69～60点をCと評価し、59点以下をD(不合格)と評価。																		
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月25日～8月31日 ■冬季:12月25日～1月7日 ■学年末:3月25日～3月31日		卒業・進級条件		学則に定める所定の修業年限以上在学し、規定科目の時間数・単位数の取得、学費等の納入を怠っていない者																		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 保護者との連携、電話連絡、家庭訪問		課外活動		■課外活動の種類 ■サークル活動: 無																		
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和2年度卒業生) アパレル業界 ■就職指導内容 学生指導全般で就職意識を高める指導をし、就職活動支援講座を授業科目として設けている。また、学内での企業説明実施や個別面接指導に十分時間をとり、学生個々へ丁寧な指導を行なっている。 ■卒業者数 23 人 ■就職希望者数 19 人 ■就職者数 17 人 ■就職率 : 89.4 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 73.9 % ■その他 (令和2年度卒業者に関する2021年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ファッションビジネス能力検定3級</td> <td>③</td> <td>29</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>パターンメイキング能力検定3級</td> <td>③</td> <td>24</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>スタイリングマップ検定ジュニア</td> <td>③</td> <td>29</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するが記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	ファッションビジネス能力検定3級	③	29	19	パターンメイキング能力検定3級	③	24	21	スタイリングマップ検定ジュニア	③	29	24
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																				
ファッションビジネス能力検定3級	③	29	19																				
パターンメイキング能力検定3級	③	24	21																				
スタイリングマップ検定ジュニア	③	29	24																				
中途退学の現状	■中途退学者 6名 令和2年4月1日時点において、在学者55名(令和2年4月1日入学者を含む)令和3年3月31日時点において、在学者49名(令和2年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 学生の健康上の問題、及び家庭の経済的問題 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任による面談やスクールカウンセラーによるカウンセリングを実施。学費の分納・延納措置の対応や学費ローン企業との連携による学費納入支援。		■中退率 10.9 %																				
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 無 ※有の場合、制度内容を記入 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 平成28年文部科学省のファッション分野における職業実践専門課程の質保証の評価を促進する事業において、ファッション分野の第三者評価(試行)を受審。																						
当該学科のホームページURL	http://www.musashino-fashion.ac.jp																						

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本校の教育方針に共感し、人材教育の重要性を認識している企業との連携によってファッション業界に向けた職業の実践教育によって有益な人材を生み出す。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

専門学校武蔵野ファッションカレッジにおいて専門的且つ実践的な職業教育を実施する為に、企業との連携を通じ必要な情報収集、分析を行い、授業内容や授業手法の改善、カリキュラム及びシラバス(案)の策定を行なう事とする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
田中 大資	株式会社クレヨン 代表取締役	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
竹内 忠男	スタジオアヴニール 代表・文化ファッション大学院大学 教授	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	②
古本 舞	萬リンク株式会社 代表	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
片桐 芳子	本校 校長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
小倉 展伸	本校 教務部 副部長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
松山 由未	本校 教務部 教務課 副主事	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
奈良 将之	本校 教務部 教務課	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
箕輪 雅春	本校 教務部 スチューデントサポート課 副主事	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 ②学会や学術機関等の有識者
 ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回(11月・3月)

(開催日時)

第1回 平成2年11月29日(日)14:00～15:30

第2回 平成3年3月16日(火)13:00～14:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

「授業を視察した中で感じるのが、学生のデザイン画がディテールが細部まで描いていない。素材に関して表現が不足している。デザイン画の理解が不足しているのではないかと思う。デザイン画は自身のデザインの表現だけでなくパターンナーやMDに見せて共通認識を作るコミュニケーションツールでもある。曖昧な描き方では意味をなさない。」この意見から教務会議ではデザイン画の技術を学ぶ「デザイン画」やデザイン制作を行う授業「クリエイションワーク」の授業において改善に向けて取り組む事とした。指摘されている課題は描き方の技術面でだけでなく、ディテールや素材の理解が必要なことから、関連する授業「パターンメイキング」、「ファッションマテリアル」においても共通の課題として改善に向けた取り組みをしていく事とした。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

現職の業界人を講師として起用し、企業の業務手法を在学中に身につけ且つ人格的にも社会で通用するレベルになる様、礼節も身につけることとする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

1、授業科目『クリエイションワーク3』

アパレル製品の商品企画からデザインまでの企業手法を習得する授業の実施。

学習成果の評価は、企業側が受講姿勢と授業内容理解度の評価を行った。それをもとに教務課と協議の上、科目成績を出し単位の認定を行った。

連携企業 『株式会社クレヨン』

2、授業科目『アパレル技術5』

テーラードジャケットのパターン製作と縫製技術の工業的手法を習得する授業の実施。学習成果の評価は、企業側が受講姿勢と授業内容理解度の評価を行った。それをもとに教務課と協議の上、科目成績を出し単位の認定を行った。

連携企業 『室谷企画』

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
クリエイションワーク3	アパレル製品の商品企画からデザインまでの企業手法を習得する。	株式会社クレヨン
アパレル技術5	テーラードジャケットのパターン製作と縫製技術の工業的手法を習得する。	室谷企画

<p>3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係</p> <p>(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 職業実務教育の観点から最新の業界情報まで精通した教員能力維持の為、『ファッション業界の実務研修』、『指導方法向上の研修』、『就職指導研修』を計画的に行い職業教育の向上に努めている。</p> <p>(2) 研修等の実績</p> <p>① 専攻分野における実務に関する研修等 『ファッション業界の実務研修』 内容: アパレル業界EC情報取得 大塚商会主催「アパレル小売りの考えるサステナブルEC」参加 実施日: 令和2年6月5日(金) 内容: ファッショントレンド情報取得 ファッション振興財団主催「ミラノ・パリコレクションセミナー」参加 実施日: 令和2年11月16日(月) 内容: ファッション業界DX情報取得 株式会社ワコム米嶋貢氏 「ファッション業界のDX海外の事例紹介」参加 実施日: 令和3年3月16日(火)</p> <p>② 指導力の修得・向上のための研修等 『指導方法向上の研修』 内容: 公益財団法人東京都私学財団主催 「学校の防災と危機管理」参加 講師: 一般社団法人日本防災教育訓練センター サミー カミヤ 先生 実施日: 令和2年10月21日(水) 内容: 公益財団法人東京都私学財団主催 「SDGsで自分を変える、未来が変わる」参加 講師: 株式会社博報堂DYホールディングス CSR推進担当部長 川延 昌弘 先生 実施日: 令和2年12月9日(水) 内容: 「保護者対応のポイント」参加 講師: 臨床心理士 野町 一成 先生 実施日: 令和3年3月19日(金) 『就職指導向上の研修』 内容: 就職先業界研究 「一般社団法人 日本アパレル・ファッション産業協会主催 合同企業説明会」参加 実施日: 令和3年2月6日(土)</p>																									
<p>(3) 研修等の計画</p> <p>① 専攻分野における実務に関する研修等 『ファッション業界の実務研修』 内容: ファッショントレンド情報取得 ミラノ・パリコレクションセミナー 実施予定: 令和3年11月中旬</p> <p>② 指導力の修得・向上のための研修等 『指導方法向上の研修』 「学校コンプライアンスについて」 実施予定: 令和3年4月上旬 「メンタルヘルス研修・発達障害について」 実施予定: 令和3年7月上旬・令和4年3月下旬</p>																									
<p>4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係</p> <p>(1) 学校関係者評価の基本方針 自己点検・自己評価及び学校の公共性を担保するとともに専門学校の教育活動、その他の学校運営につき継続的に改善を図り、教育内容の質の向上を目指す。</p> <p>(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ガイドラインの評価項目</th> <th>学校が設定する評価項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 教育理念・目標</td> <td>育成人材像・将来(中期的)構想・学校の特色</td> </tr> <tr> <td>(2) 学校運営</td> <td>運営方針・事業計画・運営組織及び意見決定システム・人事考課制度</td> </tr> <tr> <td>(3) 教育活動</td> <td>教育目標・業界の人材ニーズとの整合性・カリキュラムの体系化</td> </tr> <tr> <td>(4) 学修成果</td> <td>就職率・資格取得率・退学率・卒業生の社会的な活躍及び評価</td> </tr> <tr> <td>(5) 学生支援</td> <td>就職指導体制・学生相談体制・経済的支援体制・保護者との連携</td> </tr> <tr> <td>(6) 教育環境</td> <td>施設、設備の整備・学外実習、インターシップ、海外研修等の教育体制</td> </tr> <tr> <td>(7) 学生の受入れ募集</td> <td>学生募集活動の適正化・入学選考基準・学納金の妥当性</td> </tr> <tr> <td>(8) 財務</td> <td>財政基盤の安定性・予算、収支計画の有効性・会計監査の適正化</td> </tr> <tr> <td>(9) 法令等の遵守</td> <td>法令、設置基準等の遵守性・自己点検、自己評価の実施及び公開</td> </tr> <tr> <td>(10) 社会貢献・地域貢献</td> <td>社会貢献の実態・学生のボランティア活動の支援</td> </tr> <tr> <td>(11) 国際交流</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※(10)及び(11)については任意記載。</p> <p>(3) 学校関係者評価結果の活用状況 学校運営に関して、各部門、各種委員会が評価アンケート、評価報告書を有効活用されている。「ファッション」とは「服」だけの事ではなく、「世の中の変化」のことで、しっかりと「世の中の変化への対応」を検討されていると評価を受けた。本学の学校運営とファッションに関する考え方が企業等の方々から共感を得られたとは自信を得ることとなった。今後はこの方針で邁進し、カリキュラムでの表現ができるように進化していきたい。</p>		ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目	(1) 教育理念・目標	育成人材像・将来(中期的)構想・学校の特色	(2) 学校運営	運営方針・事業計画・運営組織及び意見決定システム・人事考課制度	(3) 教育活動	教育目標・業界の人材ニーズとの整合性・カリキュラムの体系化	(4) 学修成果	就職率・資格取得率・退学率・卒業生の社会的な活躍及び評価	(5) 学生支援	就職指導体制・学生相談体制・経済的支援体制・保護者との連携	(6) 教育環境	施設、設備の整備・学外実習、インターシップ、海外研修等の教育体制	(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動の適正化・入学選考基準・学納金の妥当性	(8) 財務	財政基盤の安定性・予算、収支計画の有効性・会計監査の適正化	(9) 法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守性・自己点検、自己評価の実施及び公開	(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献の実態・学生のボランティア活動の支援	(11) 国際交流	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目																								
(1) 教育理念・目標	育成人材像・将来(中期的)構想・学校の特色																								
(2) 学校運営	運営方針・事業計画・運営組織及び意見決定システム・人事考課制度																								
(3) 教育活動	教育目標・業界の人材ニーズとの整合性・カリキュラムの体系化																								
(4) 学修成果	就職率・資格取得率・退学率・卒業生の社会的な活躍及び評価																								
(5) 学生支援	就職指導体制・学生相談体制・経済的支援体制・保護者との連携																								
(6) 教育環境	施設、設備の整備・学外実習、インターシップ、海外研修等の教育体制																								
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動の適正化・入学選考基準・学納金の妥当性																								
(8) 財務	財政基盤の安定性・予算、収支計画の有効性・会計監査の適正化																								
(9) 法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守性・自己点検、自己評価の実施及び公開																								
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献の実態・学生のボランティア活動の支援																								
(11) 国際交流																									

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成31年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
田中 大資	株式会社クレヨン 代表取締役	令和2年年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員
星野 玲	株式会社東京芸夢 経営管理部 人事課	令和2年年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員
石井 久美子	東京都立向丘高等学校 副校長	令和2年年4月1日～令和4年3月31日(2年)	高等学校副校長
古本 舞	萬リンク株式会社 代表	令和2年年4月1日～令和4年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ

URL:http://www.musashino-fashion.ac.jp/educational_info.html

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

公開は毎月個別として毎月活動への取組の寺の子校運営の主体状況を積極的に可能な限り、堂々と行つて情報として提供する

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	校長・校訓・基本組織・事業報告書
(2)各学科等の教育	学科・教育研究上の目的・入学者の受入方針・入学者数、
(3)教職員	教職員の構成
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職支援・実践的職業訓練
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況
(6)学生の生活支援	学生支援への取組状況
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金、納入時期等・就学支援、奨学金制度等
(8)学校の財務	財務情報・監事監査報告書
(9)学校評価	自己点検、自己評価報告書・学校関係者評価報告書
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:http://www.musashino-fashion.ac.jp/educational_info.html

授業科目等の概要

(服飾専門課程アパレルプロフェッショナル科) 令和2年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		(期 回 公)		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			クリエイションワーク1	クリエイションワーク1ではテーマからのイメージ表現、そのイメージを表現するファッションデザインを生み出すことを学びます。	1前	30	1	△		○	○			○		
○			クリエイションワーク2	形の無い物からの発想、歴史やトレンドをリサーチしてその結果としてのファッションデザイン。それぞれの課題のポイントをつかみ、内容にあったデザインを時間内に丁寧に表現することを学びます。	1前	30	1	△		○	○				○	
○			クリエイションワーク3	ライフスタイルを考えてのファッションデザインを学びます。TPOやシチュエーションを考慮し、現実的に好まれるファッションデザインに挑戦します。	1後	30	1	△		○	○				○	○
○			パターンメイキング1	スカート原型の作図法と、デザインスカートの展開方法を学びます。	1前	30	1			○	○				○	
○			パターンメイキング2	トルソー原型の考え方と展開方法、衿・袖の考え方と展開方法を学びます。	1前	30	1			○	○				○	
○			パターンメイキング3	パンツ原型の考え方と展開方法、ワンピースの展開方法を学びます。	1前	30	1			○	○				○	
○			パターンメイキング4	トルソー原型からジャケット原型へのゆとりの考え方。テーラードジャケットのディテールと工業用パターン作成方法を学びます。	1後	60	2			○	○				○	
○			パターンメイキング5	パターンメイキングに関する基礎知識・技術を習得すると共に、パターンメイキング技術検定3級筆記試験の受験準備を兼ねます	1後	60	2			○	○				○	
○			アパレル技術1	生地の地直しの方法から、ミシン、ロックミシン、アイロンを用いての縫製の仕様を学ぶ。	1前	30	1			○	○			○		
○			アパレル技術2	基本的なスカートのシルエットに対しての生地選び方。基本的なスカートの構造の理解。基本アイテム（スカート）の縫製を学びます。	1前	30	1			○	○			○		
○			アパレル技術3	シャツブラウス・パンツの構造理解。基本アイテム（シャツブラウス・パンツ）の縫製を学び、効率良い縫製手順を身につけます。	1前	60	2			○	○			○		

(服飾専門課程アパレルプロフェッショナル科) 令和2年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		(期 回 公)		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			アパレル技術4	ワンピースでは薄く滑る素材の扱いの習得。オリジナルシャツブラウスでは個々のデザインに合わせてスケジュール立て製作します。	1後	60	2			○	○		○		
○			アパレル技術5	基本アイテムテーラードジャケットの縫製技術を習得し、裏地、芯、副資材について学びます。	1後	120	4			○	○		○	○	○
○			立体裁断1	地の目に対しての理解と、ピン打ちなど、基本的な立体裁断技術の習得。立体裁断による原型作成。スカートの立体表現。	1前	30	1			○	○				○
○			立体裁断2	『ブラウス』のドレーピングの基本技術の習得。基本的な身頃のゆとりの入れ方の理解。デザインブラウスの練習。	1後	30	1			○	○				○
○			デザイン画1	デザイン画の基本プロポーションと衣服の関係を把握し、デザインの構造を正確に描けるように、基本技術を高めます。	1前	30	1	△		○	○				○
○			デザイン画2	デザイン画1で習得した基本技術をもとに、さまざまなものを使ってデザイン発想の練習をし、応用力・発想力を身につけます。	1後	30	1	△		○	○				○
○			スタイリングマップ1	パーソナルカラーの基本的知識を習得し、色の特性を理論的に識別判断できる能力を養います。	1前	30	1	○			○				○
○			ファッションマテリアル1	繊維→糸→織物・編物→加工→製品までの流れに関する講義と各々の企画に合わせた素材提案マップを製作します。	1後	30	1	○			○				○
○			ファッションビジネス1	アパレル業界全体の仕組みを包括し、基礎から理解します。	1前	30	1	○			○		○	○	
○			ビジネスコミュニケーション	課題を解決し、顧客やパートナーの満足度を高めることで評価されるのが仕事です。ビジネスシーンで要求されるコミュニケーションスキルの向上を図ります。	1後	30	1	○		△	○				○
○			コンピューターグラフィックス1	Macintoshの基本操作をはじめ、Adobe Illustrator や Adobe Photoshop の基本操作、各種ソフトの特徴を理解して目的に応じた適切な方法を選択し、仕上げるまでの授業を副教材を用いて行います。	1前	30	1			○	○			○	
○			incubate collection	ファッションショーの準備、運営の授業を通し、組織として一つの目標に向けて行動します。責任感、行動力、協調性、等、社会人基礎力を養う内容です。	1後	30	1			○	○			○	

(服飾専門課程アパレルプロフェッショナル科) 令和2年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		(期 回 公)		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			プレゼンテーション1	自分の考えをまとめ、伝えていく練習や、発表内容に説得力を持たせる手法を実習を通して身につけます。	1 通 年	30	1			○	○		○		
○			コレクションセミナー1	市場動向やファッショントレンドについての最新情報を得る授業です。また、業界で活躍中の方や卒業生の講演も行います。	1 通 年	30	1	○			○		○		
○			マーケットリサーチ1	店舗リサーチから美術館見学まで幅広く行う校外見学の授業です。必ずレポートを製作し知識と情報を蓄積します。	1 通 年	30	1			○		○	○		
○			イベントプロデュース1	学園祭などの準備から実施までの内容です。終了後レポート提出があります。	1 通 年	60	2			○	○		○		
	○		リクルートガイダンス1	就職活動における基本的マナーと活動方法を身につけ、意思決定がなされるように進路選択をしていきます。ファッション業界の就職の仕方を学びます。	1 後	30	1	○			○		○		
	○		デザイン画3	デザイン画2で習得した技術をもとに、さまざまなものを使ってデザイン発想の練習をし、応用力・発想力を身につけます。	1 後	30	1			○	○			○	
	○		コンピュータグラフィックス2	必修科目CG1で学んだ主な基本操作の復習と、自由なアイテムに自由なプリント手法を使用したオリジナルデザインプリントを製作し、更なる知識、技術の追求を深めます。	1 後	30	1			○	○		○		
		○	コンテストコーチング	各種デザインコンテストに入選する為のノウハウを身につけます。	1 通 年	30	1			○	○		○		
		○	モデルウォーキング1	incubate collection でのモデルです。レッスンを受講後、本番に望みます。服が最高に良く見える様、作品に合わせ美しく歩くことを、指導します。	1 後	30	1			○	○			○	
		○	キャンパスサポート1	体験入学で誘導や実習でのサポートを通して、初対面の方とも笑顔で会話が出来る接遇力を高めます。	1 通 年	30	1			○	○		○		
○			デザインクリエーション1	期間限定ショップ用 商品デザインです。販売時期やトレンドを意識しながら個性的なデザインを生み出す事を学びます。(企画案1)	2 前	30	1	△		○	○		○		
○			デザインクリエーション2	ファッションショー用デザインです。トレンドを意識しながら個性的なデザインを生み出す事を学びます。	2 前	30	1	△		○	○		○		

(服飾専門課程アパレルプロフェッショナル科) 令和2年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		(開 回 公)		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			デザインクリエーション3	学園祭で行う卒業コレクションで発表するデザインです。2年間の集大成として、トレンドを意識しながら個性的なデザインを生み出します。	2後	30	1	△		○	○		○			
○			クリエーションパターン1	デザインクリエーション1で制作した期間限定ショップに向けての商品用パターン制作です。商品として必要な機能性を考慮したパターンを制作します。	2前	60	2			○	○				○	
○			クリエーションパターン2	デザインクリエーション2でデザインしたファッションショー用作品のパターン制作の授業です。(トワルチェック・修正)	2後	60	2			○	○					○
○			クリエーションパターン3	デザインクリエーション3でデザインした卒業制作課題のパターン制作の授業です。	2後	30	1			○	○					
○			モデリング1	期間限定ショップ用商品制作課題です。クリエーションパターン1で制作されたパターンを使っての作品制作です。	2前	90	3			○	○					○
○			モデリング2	ファッションショー作品制作課題です。クリエーションパターン2で制作されたパターンを使っての作品制作です。	2後	90	3			○	○					○
○			モデリング3	学園祭で発表される卒業作品制作課題です。クリエーションパターン3で制作されたパターンを使っての作品制作です。	16	60	2			○	○					○
○			立体裁断3	袖や襟のディテール表現や柔らかいドレス表現のドレーピング技術を学びます。	15	30	1			○	○			○	○	
○			CAD1	CADの基本操作理解。	14					○	○					○
○			CAD2	CADの基本操作理解。マーキング、グレーディング操作の習得	2前	30	1			○	○					○
○			パターンテクニック1	シャツブラウス・スカートのデザイン画からシルエット、構造線、ディテールを的確に読み取り、パターンとして表現できるように実習を通して訓練します		30	1			○	○					○
○			ファッションマテリアル2	1年次に習得したテキスタイル知識の確認をしながら、PPTの画像を見せ、より深い素材知識を学び。それを基本として具体的な市場展開するアパレルのあり方を確認し、様々な知識を獲得する幅広い授業内容になります。	2前	30	1	○			○			○		

(服飾専門課程アパレルプロフェッショナル科) 令和2年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		(期 回 公)		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			リクルート ガイダンス2	1年時に身につけた知識を基に進路を探求します。各自の進路に合わせ、面接指導や個別相談で就職試験の準備をします。		30	1	○			○		○		
○			incubate collection	ファッションショーの準備、運営の授業を通し、組織として一つの目標に向けて行動します。責任感、行動力、協調性、等、社会人基礎力を養う内容です。	1 後	30	1			○	○		○		
○			プレゼンテー ション2	期間限定ショッップ、コレクション、卒業作品展に出品する作品のプレゼンテーションを行います。	1 通 年	30	1			○	○		○		
○			コレクション セミナー2	市場動向やファッショントレンドについての最新情報を得る授業です。また、業界で活躍中の方や卒業生の講演も行います。	2 通 年	30	1	○			○		○	○	
○			マーケットリ サーチ2	「集めた情報を文章にまとめる。感じたことを文章表現する」科目です。学内では得られないファッション情報や美的センスを磨くためアート作品の見学等を行います。必ずレポートを制作し知識や情報を蓄積します。	2 通 年	30	1			○		○	○		
○			イベントプロイ デュース2	学園祭などの準備から実施までの内容です。終了後レポート提出があります。	2 通 年	60	2			○	○		○		
	○		パターン テクニック2	デザイン画からパターンメイキング、トワルの組み立て、修正、ファーストパターンの完成を繰り返す実習を通して、パターンメーカーとしての基礎能力を身につけます。	2 前	30	1			○	○				○
	○		CAD3	CADの基本操作理解。最終的にはオリジナルデザインをCADでパターン製作出来る技能を身に付けます。	2 後	30	1			○	○			○	
	○		立体裁断4	テーラードジャケットとコートのドレーピング技術を身につける。	2 後	30	1			○	○				○
		○	帽子製作	自分のイメージした作品のデザインを、いかに厳密に正確により早く美しく仕上げるかを、製作を通して学びます。	2 前	30	1			○	○				○
		○	インターンシッ プ	現在学習している事が実際社会でどのように活用・展開しているかを知る事により、社会に出る為に今後何を学ぶべきかを認識し、勉学への意欲の向上を図ると共に、将来の職業適性や設計を考える機会とし、社会人としての自覚・職業観の育成を目的としています。	2 通 年	60	2			○		○	○		
		○	コンテストコー チング	各種デザインコンテストに入選する為のノウハウを身につけます。	2 前	30	1			○	○			○	

(服飾専門課程アパレルプロフェッショナル科) 令和2年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		(開 回 公)		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	モデルウォーキング2	incubate collection でのモデルです。レッスンを受講後、本番に望みます。服が最高に良く見える様、作品に合わせ美しく歩くことを、指導します。	2後	30	1			○	○			○	
		○	キャンパスサポート2	体験入学で誘導や実習でのサポートを通して、初対面の方とも笑顔で会話ができる接遇力を高めます。	2通年	30	1			○	○		○		
		○	コレクションスタッフ	incubate collection 実施のための準備・運営をおこないます。	2後	30	1			○	○		○		
合計						59科目		2325 単位時間 (85 単位)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
出席回数、受講姿勢、課題提出や試験による総合評価		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。